



教育目標「認め合い 学び合い 高め合う 心豊かな児童の育成」  
～「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子の育成～

# 城南小だより

令和6年度 6月号

さいたま市立城南小学校 TEL 798-4811 / FAX 798-8736

ホームページアドレス <https://jounan-e.saitama-city.ed.jp/> メールアドレス jounan-e@saitama-city.ed.jp

## 自ら学ぶ子を育てる

校長 加納 浩美

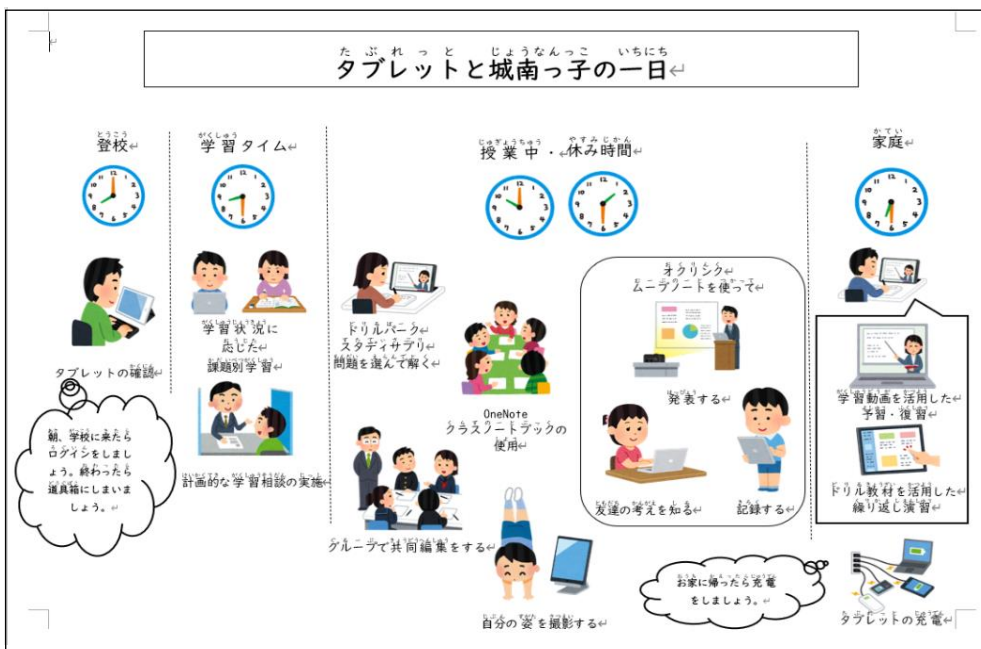
4月、令和6年度全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるなどの目的があります。保護者や地域の皆様の中には、調査問題やその傾向などニュース等でご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。調査後、どんな問題が出題されたのか気になる、私も6年生になったつもりで解いてみました。以下は、算数の問題の一部です。

<p>あやのさんたちは、350 kgの米を1人に同じ重さずつ配ると、何人に配ることができるかについて考えています。350 kgの米を1人に7 kgずつ配る場合と、1人に0.7 kgずつ配る場合を比べると、どのようなことがいえますか。1と2と、3と4の中から、それぞれ選んで、その番号を書きましょう。</p>	<p>あやの 1人に7 kgずつ配る場合を考えます。 <math>350 \div 7 = 50</math> 50人に配ることができます。</p> 	<p>350 kgの米を1人に7 kgずつ配ると、50人に配ることができます。 1人に0.7 kgずつ配るとき、配ることができる人数は、 50人より <b>1</b> 多い <b>2</b> 少ない です。</p>
<p>はやて 1人に0.7 kgずつ配る場合を考えます。 何人に配ることができるでしょうか。</p> 	<p>350 ÷ 7 = 50 です。 350 ÷ 0.7の商は、50より <b>3</b> 大きい <b>4</b> 小さい です。</p>	

この問題は5年生で学習した内容から出題されています。350 ÷ 7と350 ÷ 0.7の式からわる数が1/10になったときの答え(商)の大きさについて、正しい番号を選ぶ問題です。計算をして解いてもよいと思いますが、必ず計算で求める必要はありません。また、5年生までに学習していないと解けない問題なのかと言えば、そうではありません。わり算の学習は3年生で始まります。小さい数でわれば、答えは大きくなると3年生でも見通しがつきます。7と0.7に着目し0.7の方が小さいので、答えは大きくなると答えることができるのです。

算数は学んできたことを活かし、自分で考えた方法で解くことが楽しい教科です。授業ではじっくり考える時間を設け、PCで自分の考えを広めたり、友達考えを理解したりして考えを深めていきます。本校ではこのような授業を通して、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組んでいます。

### タブレットと城南っ子の一日



学校での様子: 登校、学習タイム(学習状況に合わせた課題別学習)、授業中・休み時間(ドリルパークやスタディサプリの問題を選んで解く、OneNoteクラウドプラットフォームの使用、グループで共同編集をする、自分の姿を撮影する)、タブレットの確認、算、学校に来たらログインをしよう、終わったら道具箱にしましましょう。

家庭での様子: 家庭での学習(学習動画を活用した学習・復習、ドリル教材を活用した繰り返し演習)、タブレットの充電、お家に帰ったら充電をしましょう。

また、本校では学力の向上のため、昨年度より自ら学ぶ児童の育成に取り組んでいます。その特徴は、週3回、朝活動の時間に「学習タイム(15分間)」を設けていることです。子どもたちは自分で課題を決め、自分で考えた方法で学習を進めます。課題も方法も、一人ひとり違っています。例えば、漢字を覚えるため、PCで学習する児童もいれば、漢字ノートに練習する児童もいます。また、担任は子どもたちと面談し、学習の進捗状況を確認しています。御家庭でも「(家庭版)学習タイム」を設け、家庭学習の充実に御協力いただけるとありがたいです。学校と家庭が連携し、自ら学ぶ子の育成に御支援くださいますようお願いいたします。(PCのドリルパークやスタディサプリを家庭学習でも活用してください。)